

2020年度 研究助成

食物アレルギーに関連する知見獲得、問題解決を目指す研究者及び研究グループに対する助成事業です。

対象研究領域

1. 食物アレルギー対応食品に関する研究
2. 食物アレルギーの予防に関する研究
3. 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
4. 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
5. 食物アレルギーに関するその他研究（社会科学的な研究を含む）

上記領域はすべて重要ですが、

特に「①食物アレルギー対応食品に関する研究」や

「②食物アレルギーの予防に関する研究」の応募を歓迎いたします。

助成対象
期間

2020年4/1～

2021年3/31

募集期間

2019年7月12日(金)から9月30日(月)消印有効

助成区分及び助成件数等

共同研究

上限600万円×5件（予定）

●専門領域を異にする複数の研究者（※）が、同一テーマに関し、広範に共同研究する場合を対象にします。

●代表研究者の他に分担経費が100万円（税込）を越える共同研究者が一人以上加わることが必要です。

※同一機関（大学等）の同一部署（学部等）に所属する者を共同研究者に指名することはできません。

なお、異分野、他機関との積極的な交流を期待しています。研究体制に食品科学の研究者が入り、医学、薬学、保健、栄養等、異分野かつ他機関が参加していることを歓迎いたします。

個人研究

上限200万円×15件（予定）

●若手研究者（2020年4月1日時点で45歳以下）による単独研究を対象とします。

※両区分とも、提案が適切であれば、新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。

※2019年度実績：採択件数（共同研究：6件、個人研究：16件）助成金総額約6,299万円

その他にも応募条件等があります。

詳細は7月中旬に公開予定の募集要項をご確認ください。



2019年度 研究助成課題 (助成対象期間：2019年4月1日から2020年3月31日)

共同研究助成 (6件)

50音順、敬称略

	氏名	所属機関・役職	課題名
1	安達 貴弘	東京医科歯科大学難治疾患研究所 准教授	食物アレルギーにおける免疫記憶の機序解明
2	岡田 直貴	大阪大学大学院薬学研究科 教授	重症食物アレルギーに対する経皮免疫療法の実用化に向けた非臨床・臨床POCデータセットの取得
3	佐藤 里絵	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 上級研究員	ソバアレルギーの特性改変に効果的な手法の探索
4	水野 雅史	神戸大学大学院農学研究科 教授	ヒ素摂取量低減を目的としたフコイダンの血中ガレクチン9分泌を促進させる食品成分との食べ合わせによるアレルギー発症予防
5	村田 幸久	東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 准教授	食物アレルギー診断技術の開発
6	森田 栄伸	島根大学医学部皮膚科学講座 教授	ω -5グリアジン欠損食用小麦の開発： ω -5グリアジン感作型小麦アレルギーの根絶に向けて

個人研究助成 (16件)

50音順、敬称略

	氏名	所属機関	課題名
1	飯嶋 益巳	東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科 准教授	HACCP 導入に向けた抗体精密整列化技術による食物アレルギーの超高度検出法の開発
2	臼井 健二	甲南大学フロンティアサイエンス学部 准教授	工場内におけるアレルギー感作評価が可能なペプチドビーズを用いた簡易検査法の開発
3	大嶋 直樹	独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター 消化器内科 医長	血清microRNAを用いた好酸球性食道炎の新規バイオマーカーの確立
4	大田 昌樹	東北大学大学院工学研究科附属 超臨界溶媒工学研究センター 助教	食物アレルギー対応食品製造のための新しい高圧噴霧技術の開発
5	川本 善之	中部大学 准教授	水溶解メラニンによるアナフィラキシー応答制御と作用機序の解明
6	小島 令嗣	山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座 助教	家塵中の鶏卵抗原と鶏卵アレルギー発症の関連の解明
7	澤 新一郎	九州大学 生体防御医学研究所 システム免疫学統合研究センター 粘膜防御学分野 教授	3型自然リンパ球を利用した新規食物アレルギー予防法の開発
8	清水 裕	北海道大学大学院 水産科学研究院 技術専門職員	メイラード反応が甲殻類アレルギーの消化・吸収性へ及ぼす影響の解明
9	田中 守	中部大学応用生物科学部食品栄養科学科 講師	食物アレルギーに対するカンナデンプンの予防効果
10	津曲 俊太郎	神奈川県立こども医療センター アレルギー科 医長	花粉-食物アレルギー症候群に対するシラカバ花粉免疫療法の有効性と安全性の検証
11	永井 宏幸	岐阜県保健環境研究所 専門研究員	LC-MS/MSを用いた特定原材料のアレルギーおよび品種判別同時分析法に関する研究
12	永倉 顕一	国立病院機構相模原病院小児科 医師	重症鶏卵アレルギー児に対する経口免疫療法ランダム化比較試験：炒り卵 VS 加熱卵粉末
13	中島 陽一	藤田医科大学医学部小児科学 講師	低アレルギー化食品を用いた魚アレルギーに対する新規治療法の開発
14	中野 泰至	千葉大学医学部附属病院小児科 助教	乳児期のビタミンD投与によるアレルギー予防に関する研究開発
15	水島 秀成	北海道大学大学院理学研究院 生物科学部門 助教	鶏卵アレルギー除去卵の作出
16	森田 英明	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 室長	重症消化管アレルギーの病態解明

当財団のWebサイトから研究課題概要をご覧ください。

https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2018/02_result.html



ニッポンハム
食の未来財団

電話：029-893-4466

E-mail：info@miraizaidan.or.jp